

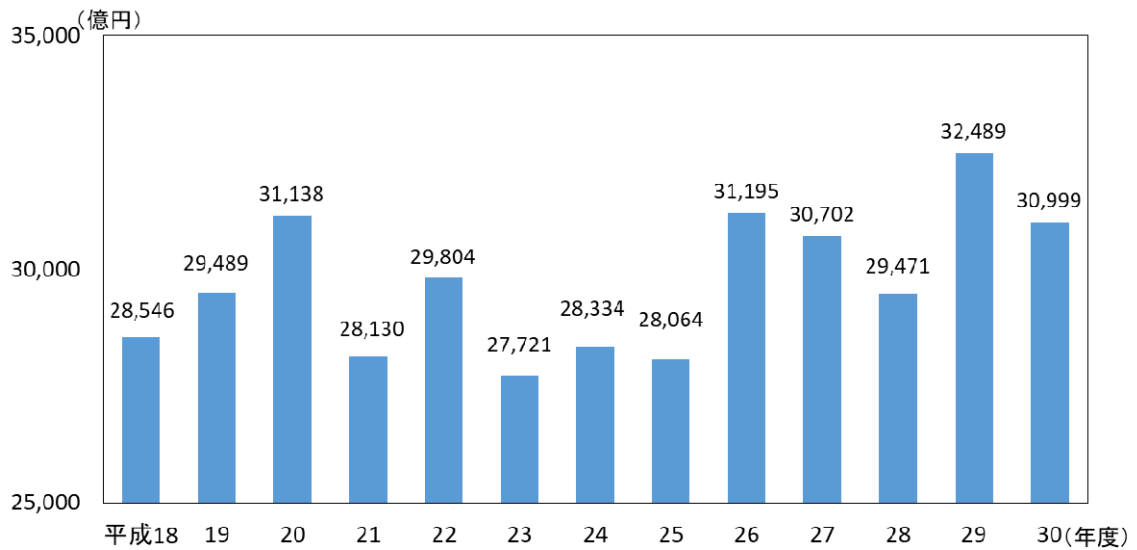
(2) 市内総生産

市内総生産

平成 18 年度以降の市内総生産（名目）の推移をみると、年度によって変動はあるものの平成 23 年度に 2 兆 7,721 億円に減少したが、平成 24 年度以降は再び増加に転じて、平成 29 年度の 3 兆 2,489 億円をピークに、平成 30 年度の市内総生産は 3 兆 999 億円となっている。

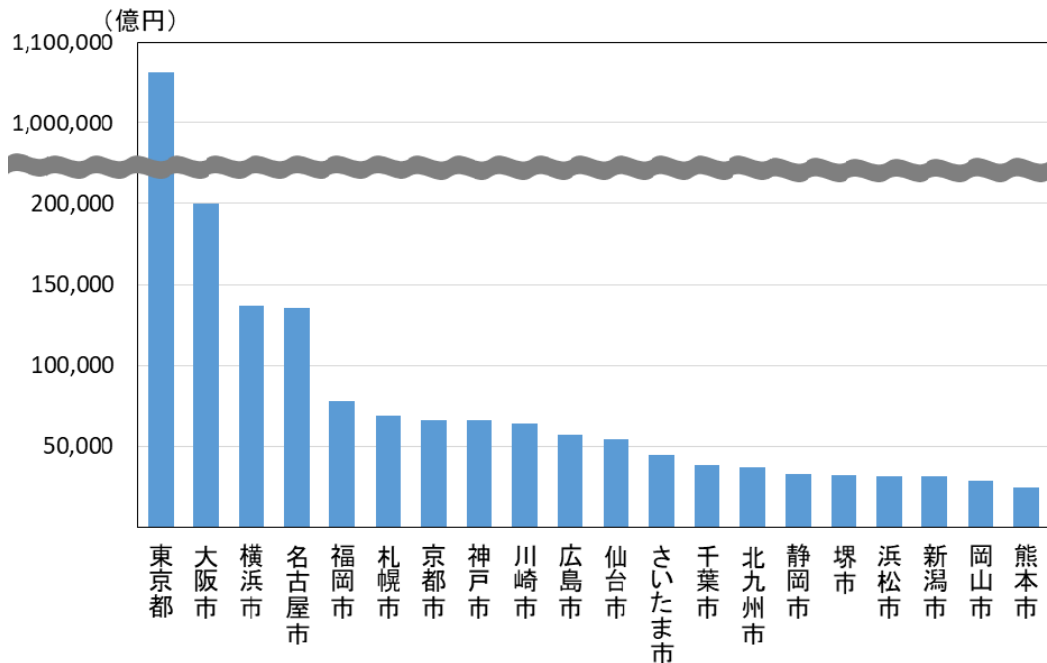
堺市の市内総生産（名目）の規模を他の大都市と比較すると、20 大都市中第 16 位となっている。

図表 10 市内総生産の推移（名目）



・データの出所：「平成 30 年度堺市民経済計算」（堺市政策企画部）

図表 11 地域内総生産の大都市比較（名目、平成 29 年度）



注：

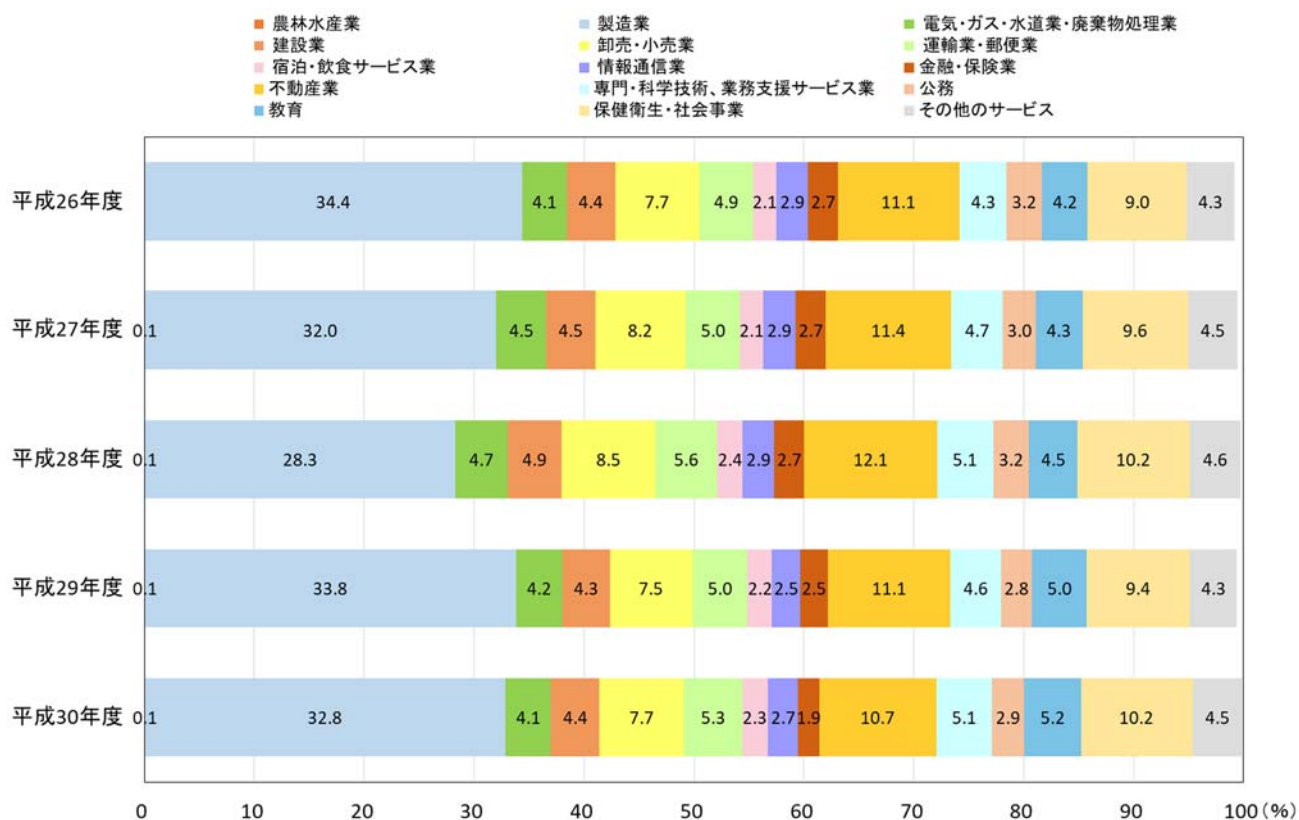
- ・静岡市、熊本市のデータは「市町内総生産」によるものである。
- ・相模原市はデータがない。

経済活動別市内総生産

経済活動別（産業別）に平成30年度の市内総生産の構成比をみると、最も構成比が高い産業は製造業（32.8%）、次いで不動産業（10.7%）、保健衛生・社会事業（10.2%）、卸売・小売業（7.7%）などとなっている。

平成26年度以降の産業別構成比の推移をみると、保健衛生・社会事業が伸びていること、卸売・小売業、不動産業などが低下傾向にあることが特徴として挙げられる。

図表12 経済活動別市内総生産（生産側、名目）構成比の推移



注：

- ・ データの出所：「平成30年度堺市民経済計算」（堺市政策企画部）
- ・ 輸入品に課される税・関税、総資本形成に係わる商品税を除いたため、内訳の合計は、100%にならない。